河 野洋平氏を 国会に 招 致 安婦問 題 の 検 証 を行 61 本 の 名誉 を 取 IJ 戻 す

署 名 活 動(こ 0) 署名 活 動 は 国会 議 員有志とも 連 携 をと ŋ 進 め て 11 ます 第 __ 田 目 五 月 末 日

れ察っ趣 てし慰旨 お抗安 り議婦 `す像 そる設 のた置 横めに に訪抗 は米議 一しす 私まる はし全 た国 H 本グ方 軍レ議 のン員 性デの 奴丨会 隷ルニ で市の しで有 たは志 `は と多 刻くこ まのの れ人た たがび 石訪米 碑れ国 がるに あ公設 り園置 まにさ し慰れ た安た 。婦慰 像安 が婦 設像 置を さ視

は来 一にこ 河禍の 野根慰 談を安 話残婦 一す像 かこは らと 来に平 てな和 いるで までよ すしり よ良 うい °関 間係 違を つ築 たこ 情う 報と をす もる と良 建あ てる ら日 れ米 た韓 慰の 安人 婦の 像心 でに す溝 がを **'**' そく のり 情 報将

zんい 。 ま平 す成 が一 `九 曖年 味に なは 情 報安 に倍 よ晋 り三 出内 さ閣 れが たっ 一強 河制 野連 談行 話を 一直 の接 み示 がす 情資 。安 報料 源は と見 な当 に った つ てら 11 いな るい 再 事一 検 がと 証 残閣 念議 て で決 事実を な定 りを まし 眀 せて

て

出らそ 歴旨に、ご賛同の来ません。 ぜひ河このままでは、次いにすることで日ことで日こことで日こことで日 の河次日氏 方野代本を は洋のの国 、平日名会 で 一氏を を を 取り で の 国り 署会うりし名招子戻て 不致達がしまり、 。現自き係 し国たを たにい確 誇所認 り存し ごをで 賛持す慰 同て 頂ず け れ国 ば際 幸社 い会 でで す堂 。々 ع は ば たく が

世話人世話人 人人 :代 ・ 八代 表 加 大 大 の は る 地 一地 uura 3会植議ぬ 報方 議松会ま 員和議剛 下議 Ĺ - y o s さ買 ・子員足 いの h 田函・立 。会抗 iko 中南山区 7裕町本議 議へ 8 太議光会 0 文賛 1郎会宏議 に同 0 杉議大員 氏議 **〜並員和・** 名員 松区・市桜 を、 浦議櫻議井 掲3 会庭会秀 載 ₂ 議節議三 員子員松 ま名 上 • 戸 す 市

私 温達は、 趣旨に 賛同 L 名致 します 直筆 で お 書き下 さ

紹

介

者

及

び

扱

団体

		氏名
		〒 住 所

河野洋平氏国会招致要求名簿

 \star

衆こ

議の

院署

議名

員は

長他

`に

参使

議う

院こ

議と

長の

`な

安い

倍よ

晋う三に

総し

理っ

にか

おり

届管

け理

ます

奈名

県用

横紙

一浜郵

慰市送

安青先

像区2

抗1

議 3

すのる1

全 0

地小

方島

議健

員一

の事

会務

一所

玉

0

6

議